



『胃と腸』2024年10月号(増大号)(Vol.59 No.10)
炎症性腸疾患 2024

定価 7,920 円 / B5 判・304 頁 / 医学書院 / 2024

炎症性腸疾患の臨床には新たな疾患概念と診断モダリティ、および新規治療法が次々と導入されている。分子生物学的解析に基づいた疾患分類、小腸内視鏡、MRI などを用いた消化管病変の総合的評価、臨床バイオマーカー、そして生物学的製剤や低分子化合物などの新規薬剤が広く用いられるに至っている。一方、患者数の爆発的增加により、Crohn 病と潰瘍性大腸炎の疫学や自然史も近年大きく変化している。本特集のテーマである炎症性腸疾患の臨床におけるダイナミズムを知ることが、患者を診療する者にとって極めて重要と考えられる。